

グラフで見る東海経済(2021年11月)

2021年11月26日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～持ち直しが一服

【今月のポイント】

- 生産(9月)は、3ヶ月連続で減少。部品調達難による輸送機械の生産調整の影響で足踏み状態となっている。
- トヨタの国内生産は、9、10月に大幅減産の後、9月を底に11月以降の挽回を見込む。
- 実質輸出は、9月に大きく落ち込んだ後、10月は3ヶ月ぶりに増加した。
- 名目賃金(8月)は、2ヶ月連続で前年比で増加しているが、一昨年比では減少が続いており弱い動きがみられる。
- 公共投資(請負金額)は、このところ低下傾向、弱い動きがみられる。

項目	現状
景気全般	持ち直しが一服
生産	足踏み状態
輸出	持ち直しの動きがみられる(↑)
設備投資	持ち直しの動きがみられる
雇用	横ばい圏で推移している
賃金	弱い動きがみられる(↑)
個人消費	弱含んでいる
住宅投資	持ち直しの動きがみられる
公共投資	弱い動きがみられる(↓)

注: ()内は前月からの変化の方向

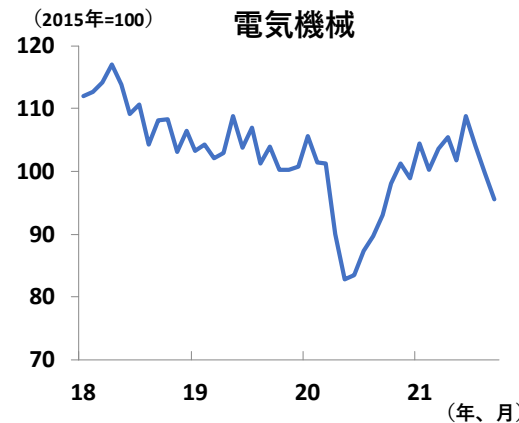
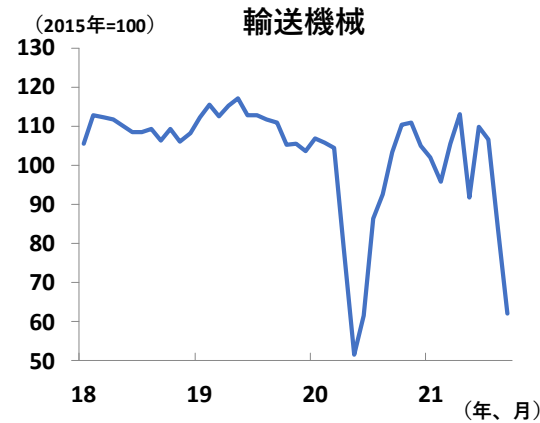
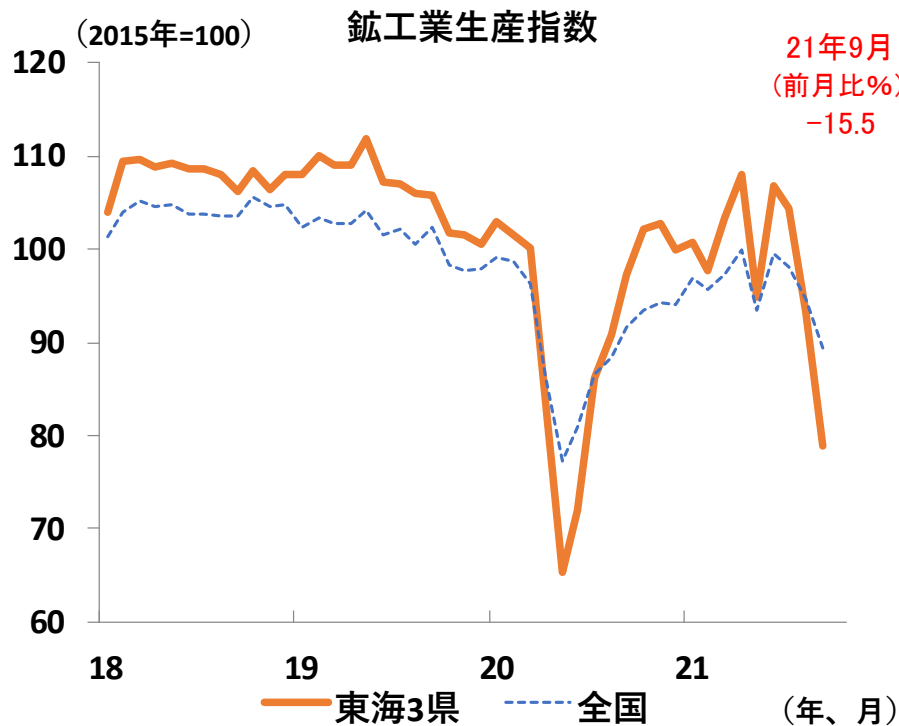
輸出は、「足踏み状態」から上方修正(↑)

賃金は、「減少している」から上方修正(↑)

公共投資は、「横ばい圏で推移している」から下方修正(↓)

生産

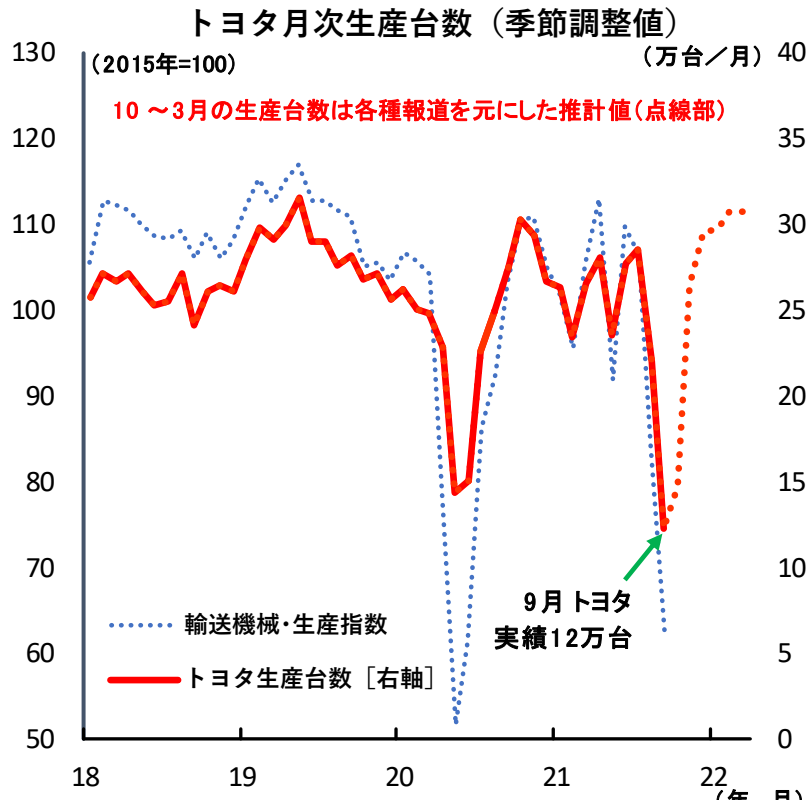
9月の鉱工業生産(東海)は前月比-15.5%と3ヶ月連続の減少となり、マイナス幅が拡大した。部品不足で生産調整をおこなっている輸送機械が引き続き大幅減となり、全体を引き下げた。輸送機械の先行きについては、トヨタ自動車の生産計画によると、9月をボトムに持ち直しに転じ、年末にかけて急回復が見込まれている。東海の実業全体についても同様の推移が見込まれる。



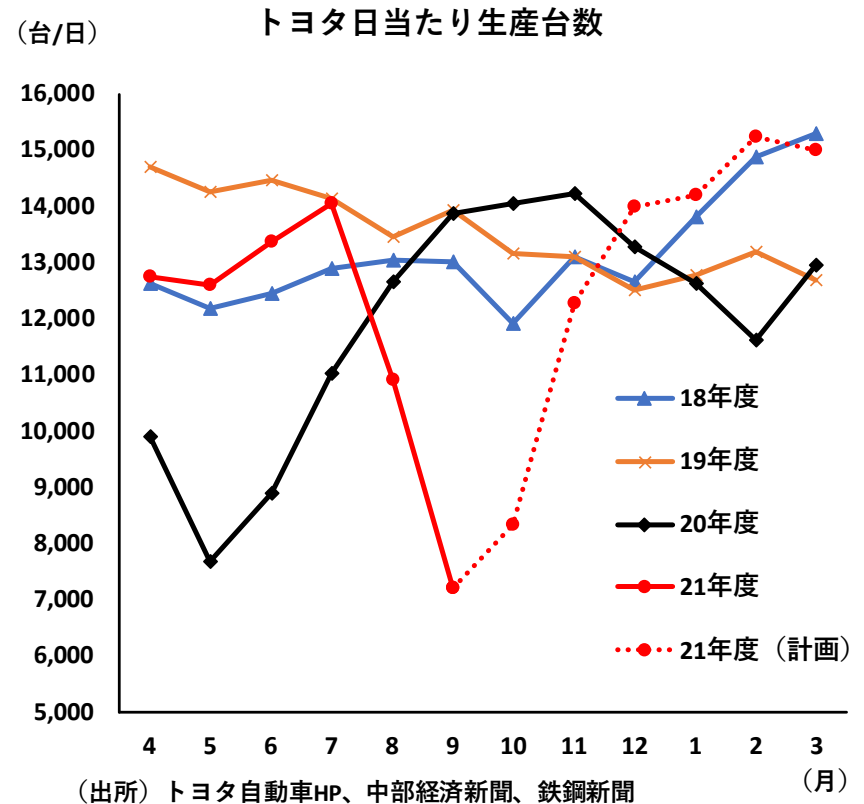
(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

生産（トヨタ生産計画）

9月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は12万台と、アジアでのコロナ感染拡大による部品調達難により大幅減となった。先行きは、部品調達難から10月も大幅減産となるが、9月を底に11月以降の挽回を見込んでいる。



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの
 (出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」

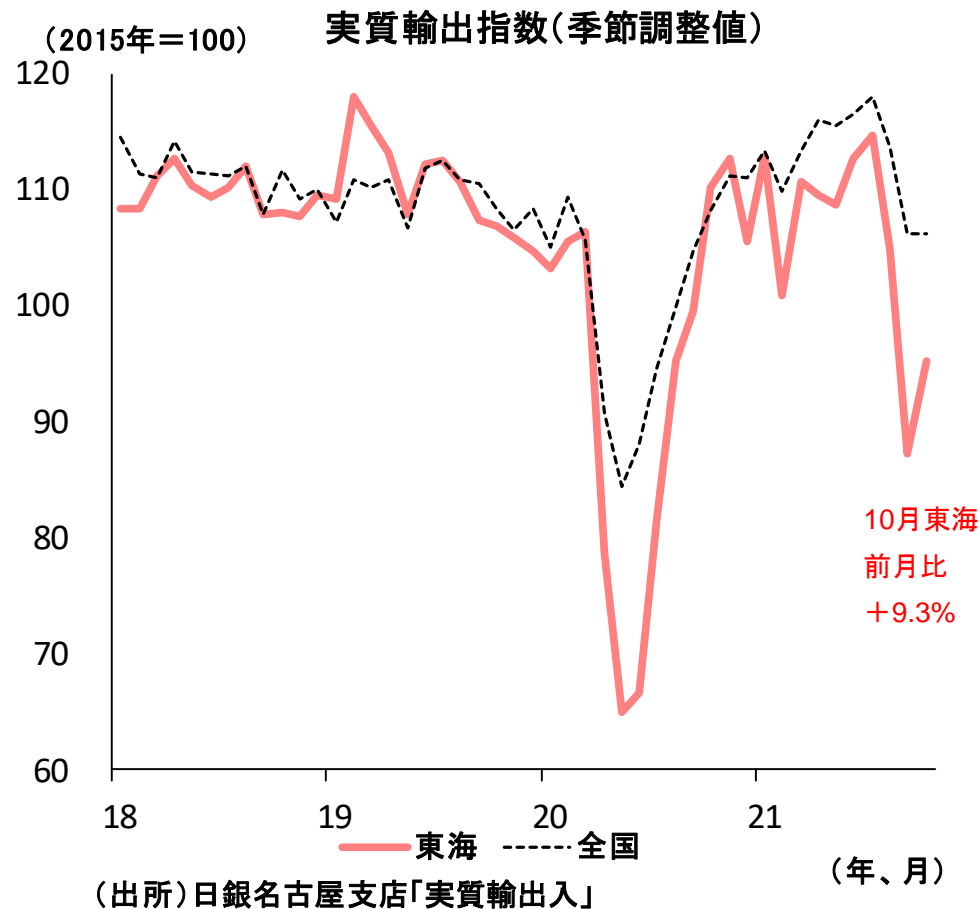
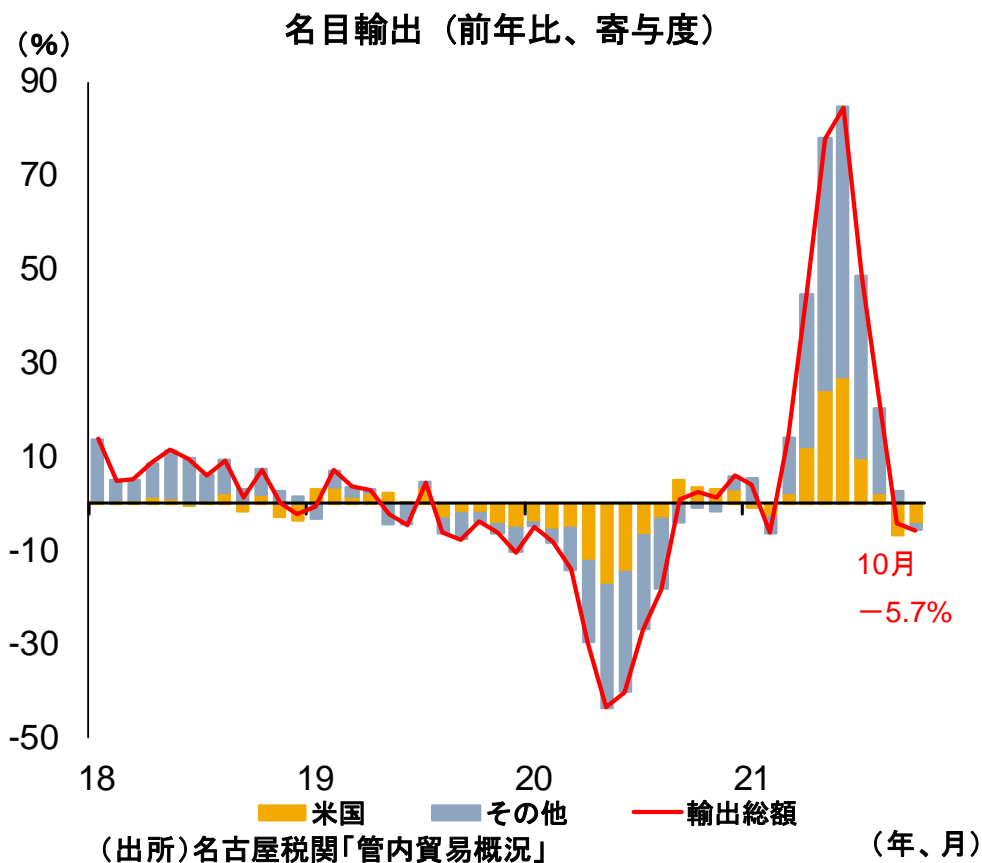


(出所) トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

輸出

10月の名目輸出額は、前年比-5.7%と2ヶ月連続で減少した(一昨年比では3ヶ月連続で減少)。地域別ではアジア、EU向けは増加したが、米国向けが減少。品目別では部品不足による生産調整のあった自動車と同-35.4%と大幅減となり、これが全体を引き下げた。

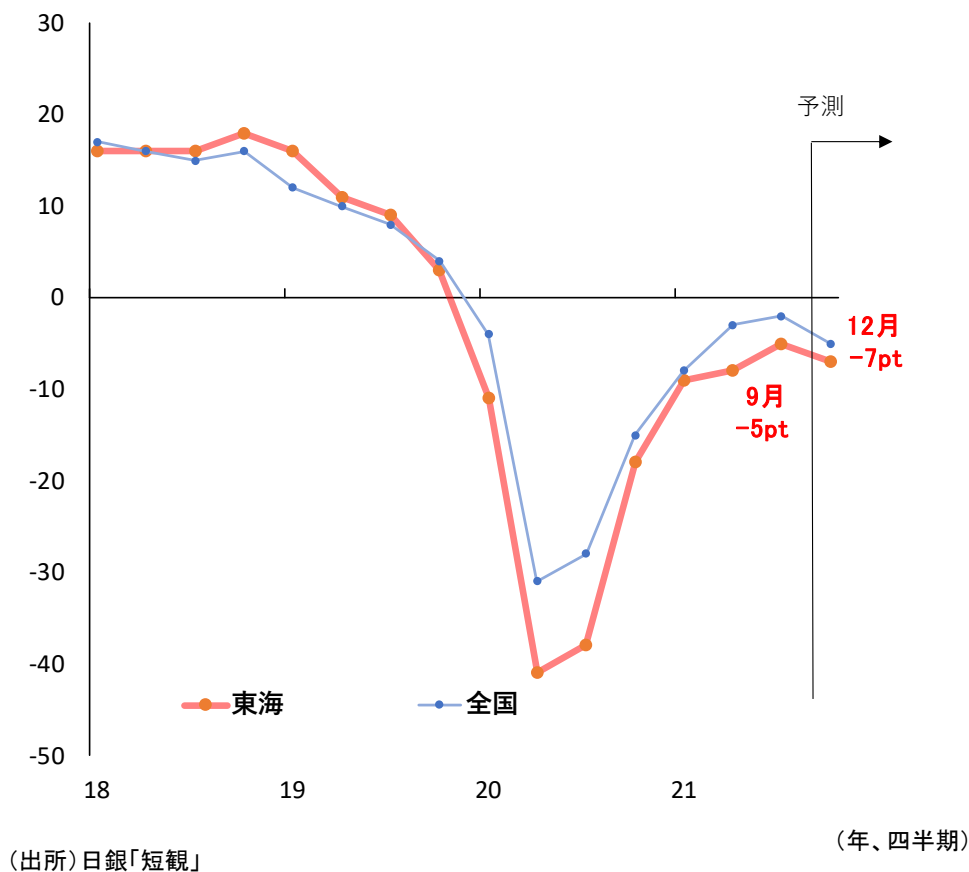
10月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+9.3%と3ヶ月ぶりに上昇した。



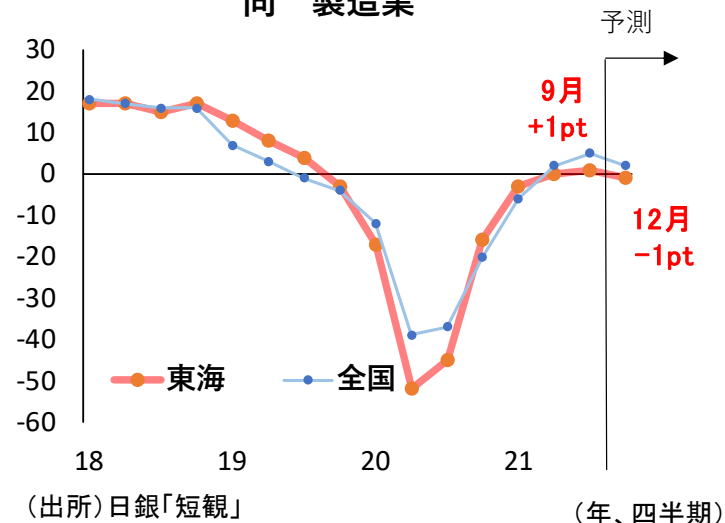
企業景況感(日銀短観) ※以下は10/1公表の9月調査。12月調査は12/13公表予定

日銀短観9月調査の業況判断DIIは全産業で-5ptと6月調査から改善した。製造業は+1ptと小幅改善して「良い」超に、非製造業は-11ptと「悪い」超ながら改善したが、宿泊・飲食サービスなどは厳しい状態が続いている。先行きは、製造業、非製造業とも小幅悪化が見込まれている。

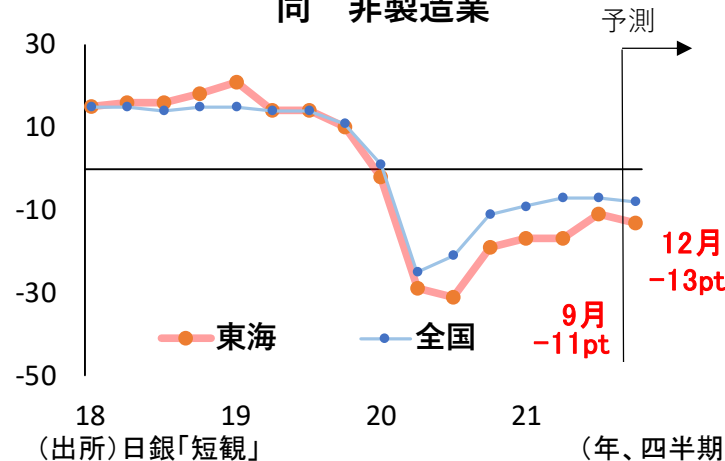
短観 業況判断DII「全産業」



同 製造業

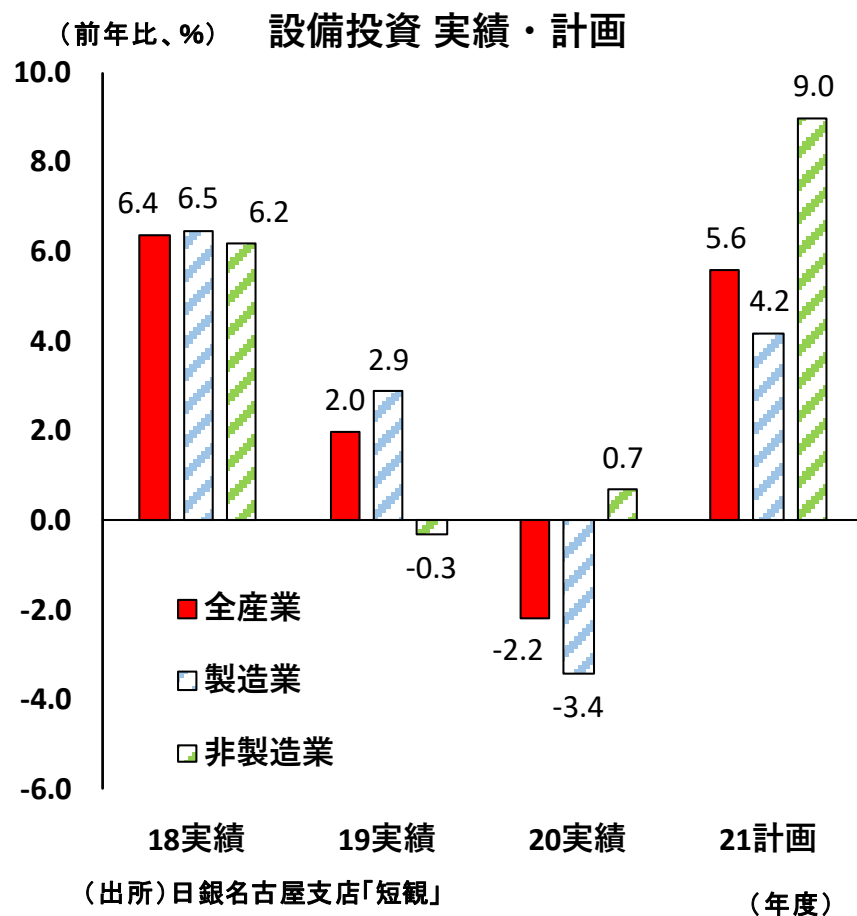


同 非製造業



設備投資※以下は10/1公表の9月調査。12月調査は12/13公表予定

日銀短観9月調査によると、21年度の設備投資計画は、製造業が前年比+4.2%と6月調査時と変わらず、非製造業は同+9.0%と6月調査時から小幅増加した。業種別では、対事業所サービス、不動産、情報通信などで大幅増が見込まれている。



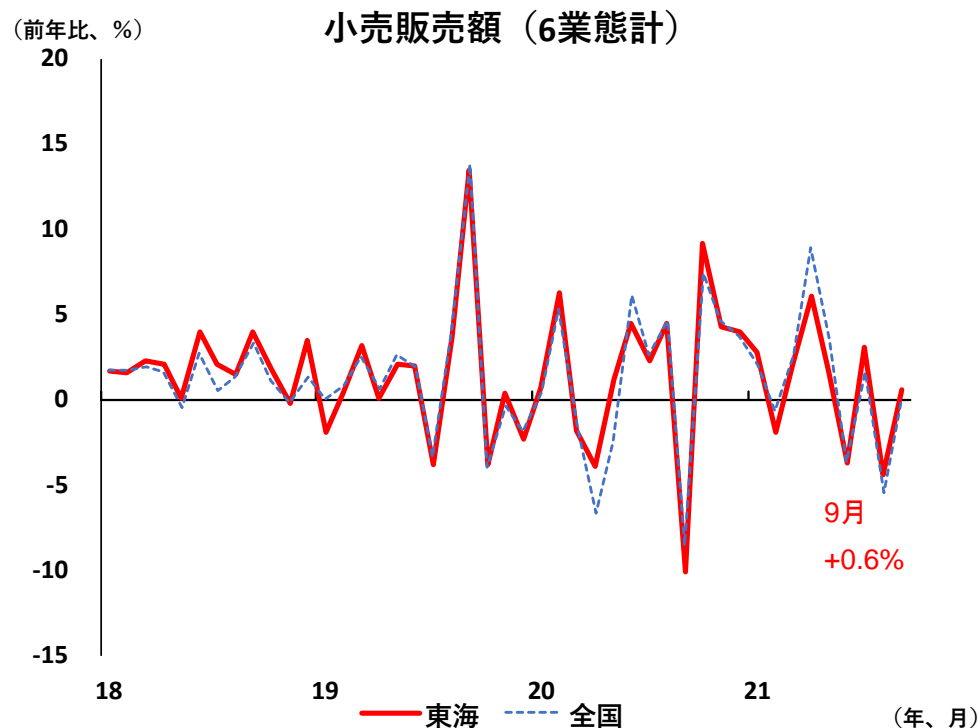
設備投資額 (前年比%)

	20年度 実績	21年度 計画		
		今回	6月調査時 [差異]	
全産業	-2.2	5.6	5.3	0.3
製造業	-3.4	4.2	4.2	0.0
非製造業	0.7	9.0	8.0	1.0

個人消費(小売売上、自動車販売)

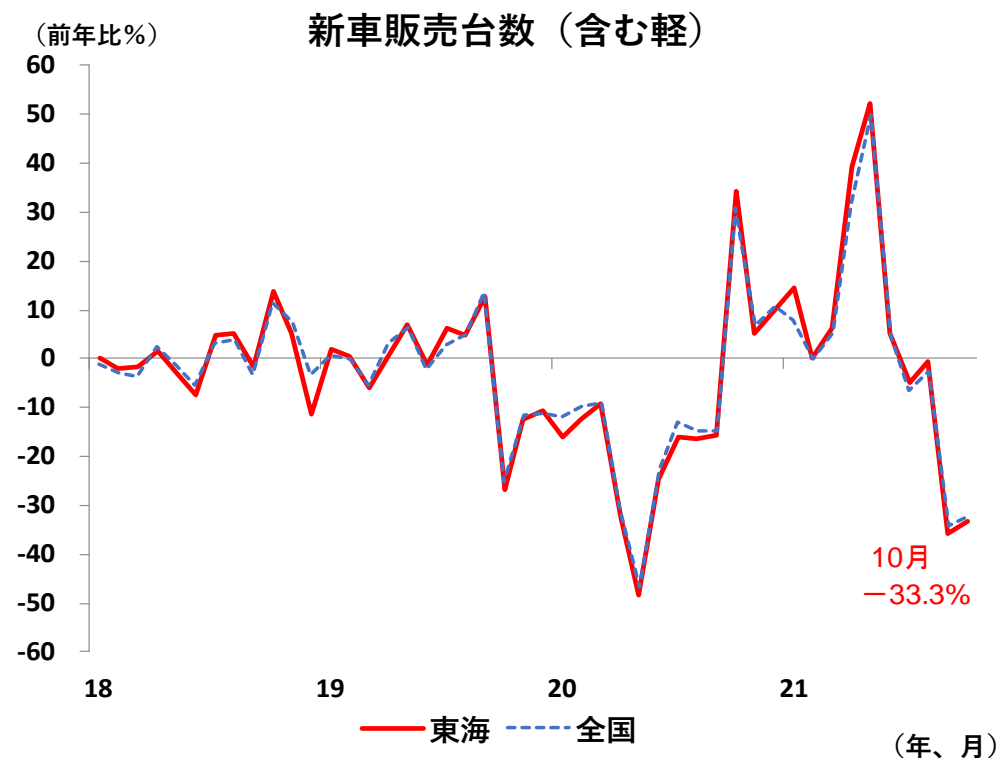
9月の小売販売額は前年比+0.6%と2ヶ月ぶりに増加したが、一昨年比では-9.6%と弱含んでいる。

10月の新車販売は、部品供給不足による生産調整により前年比-33.3%と4ヶ月連続で減少、マイナス幅も9月に続き大幅減となった。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



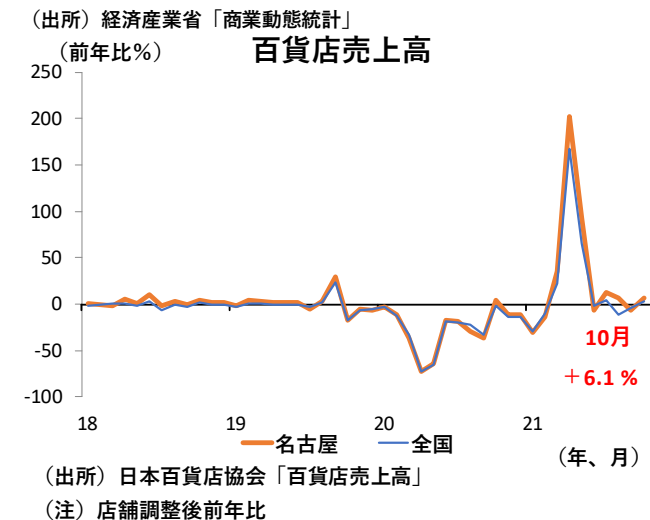
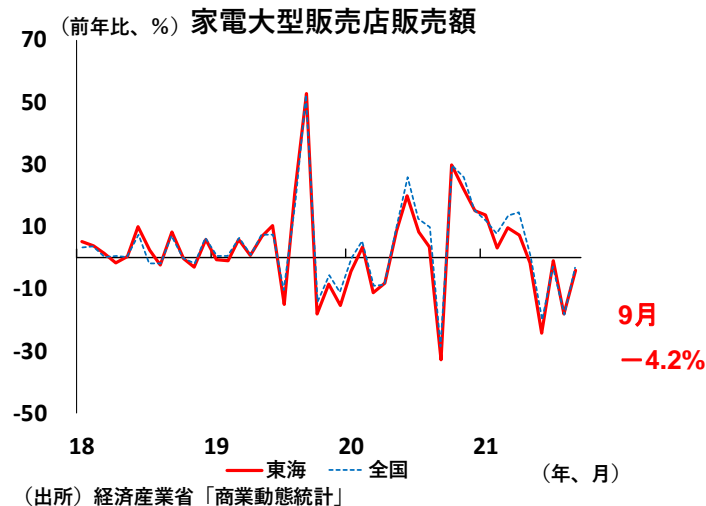
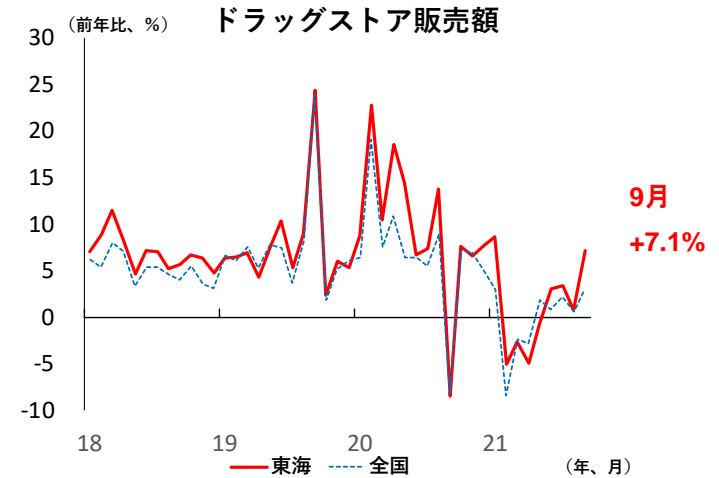
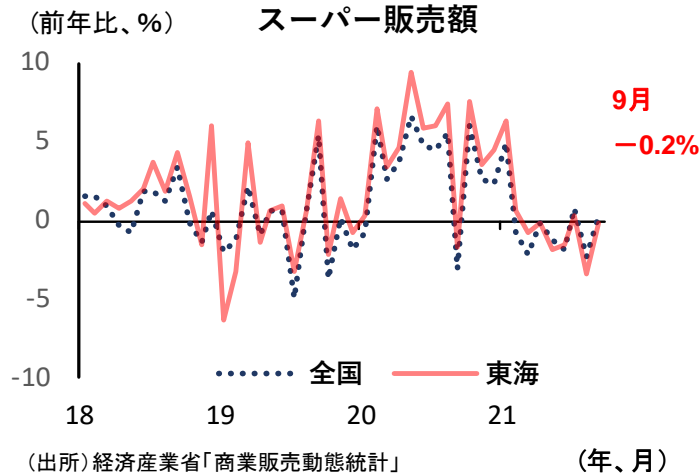
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

9月の小売販売(東海)を業態別にみると、ドラッグストアを除く業態で前年比マイナスとなった。

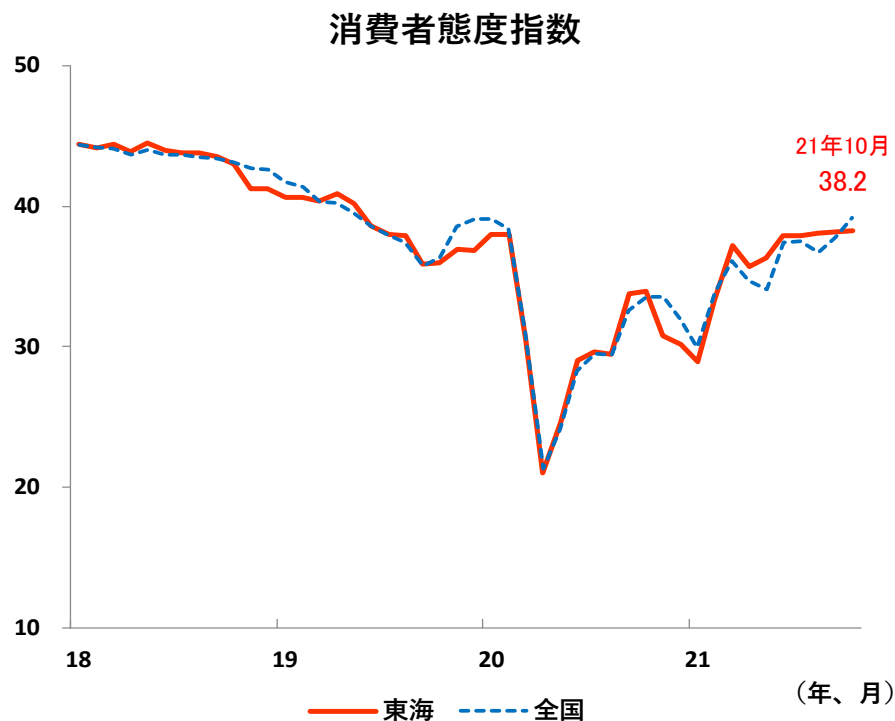
10月の百貨店売上(名古屋)は、緊急事態宣言解除により人流が増えたこともあり、前年比+6.1%と2ヶ月ぶりに増加。一昨年比でも対象月が消費税率引き上げ直後で低水準であったため同+10.7%と増加した。



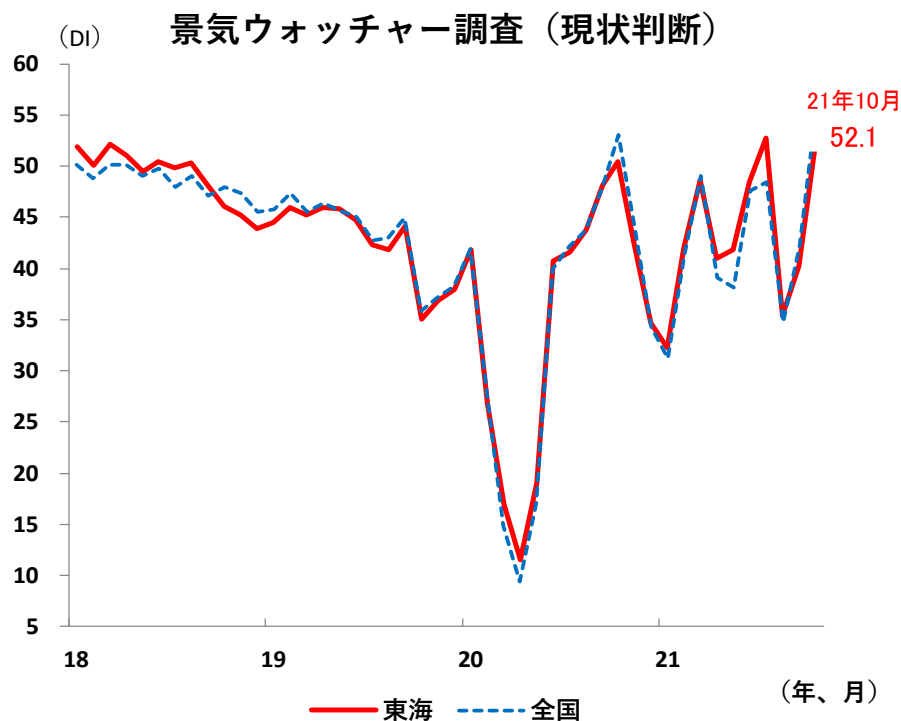
マインド・景況感

10月の消費者態度指数は38.2と前月から横ばいであった。

10月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、52.1(前月差+11.8%pt)と2ヶ月連続で上昇した。緊急事態宣言の解除、新型コロナ新規感染者数の減少が景況感の改善につながった。



(注)東海の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」



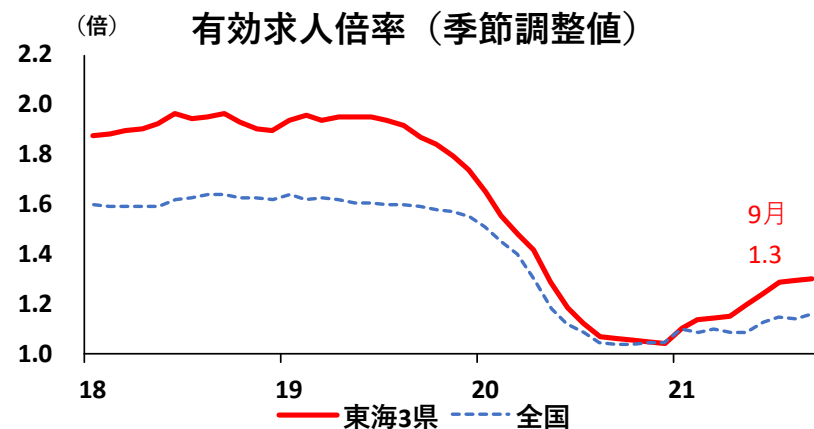
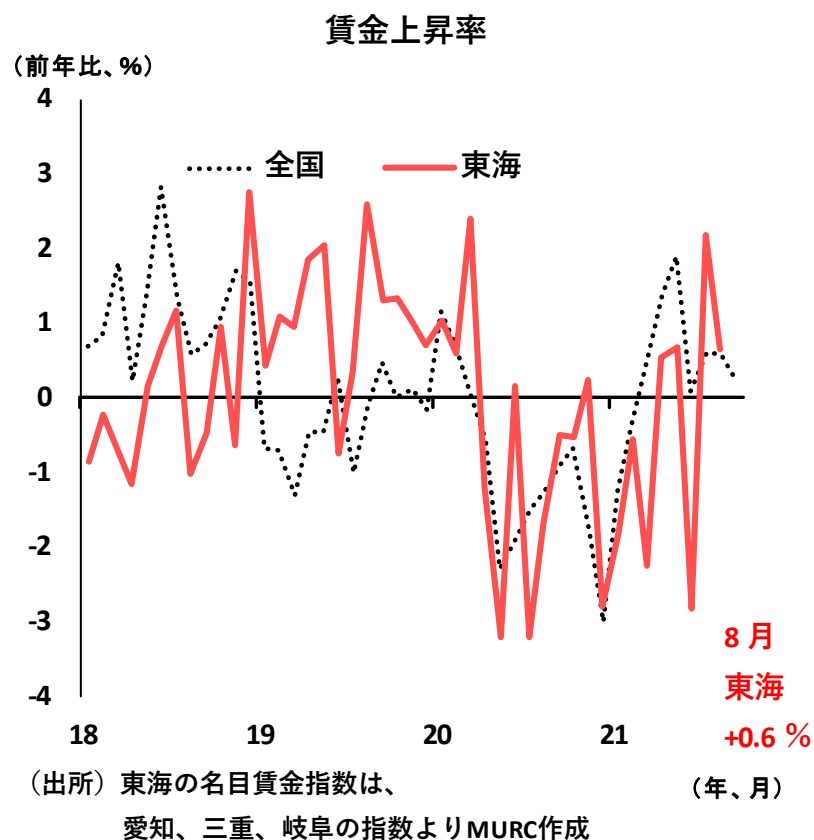
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

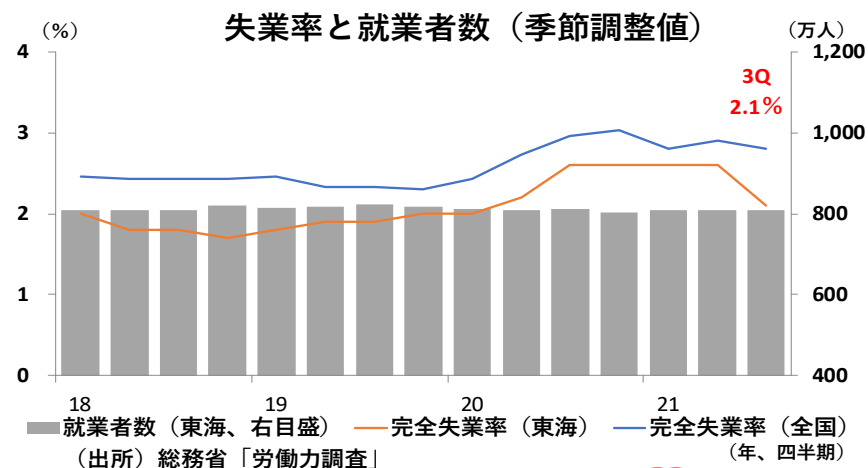
8月の名目賃金は、前年比+0.6%と2ヶ月連続で増加したが、一昨年比では減少が続いている。

9月の求人倍率は1.3と前月と同水準であった。

21年7-9月期の失業率は2.1%と低下。就業者数は、ほぼ横ばいとなった。



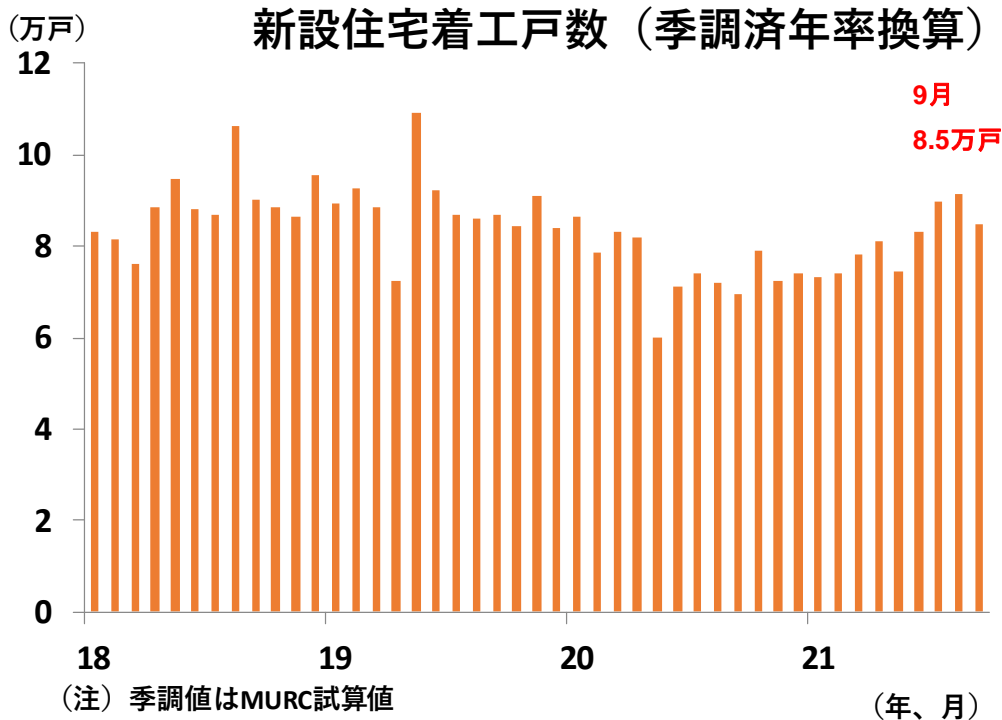
(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



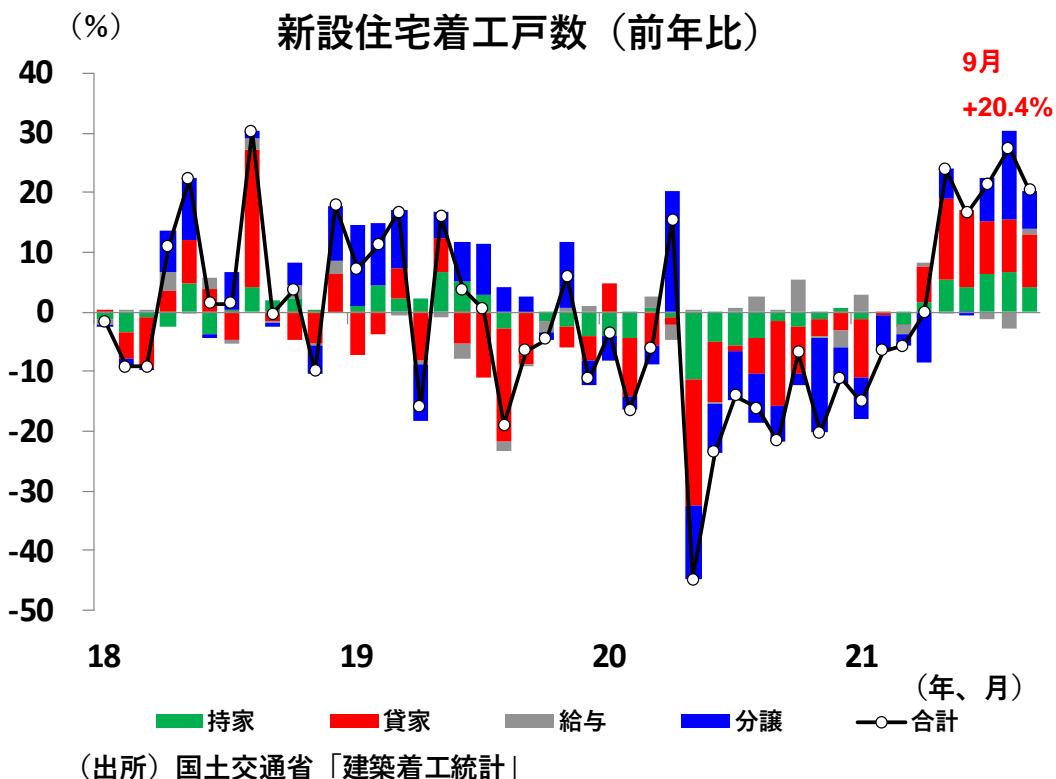
住宅投資

9月の住宅着工は季調・年率で8.5万戸と4ヶ月ぶりに減少した。前年比では+20.4%と5ヶ月連続で増加したが、一昨年比では-2.4%と減少している。

新設住宅着工戸数（季調済年率換算）

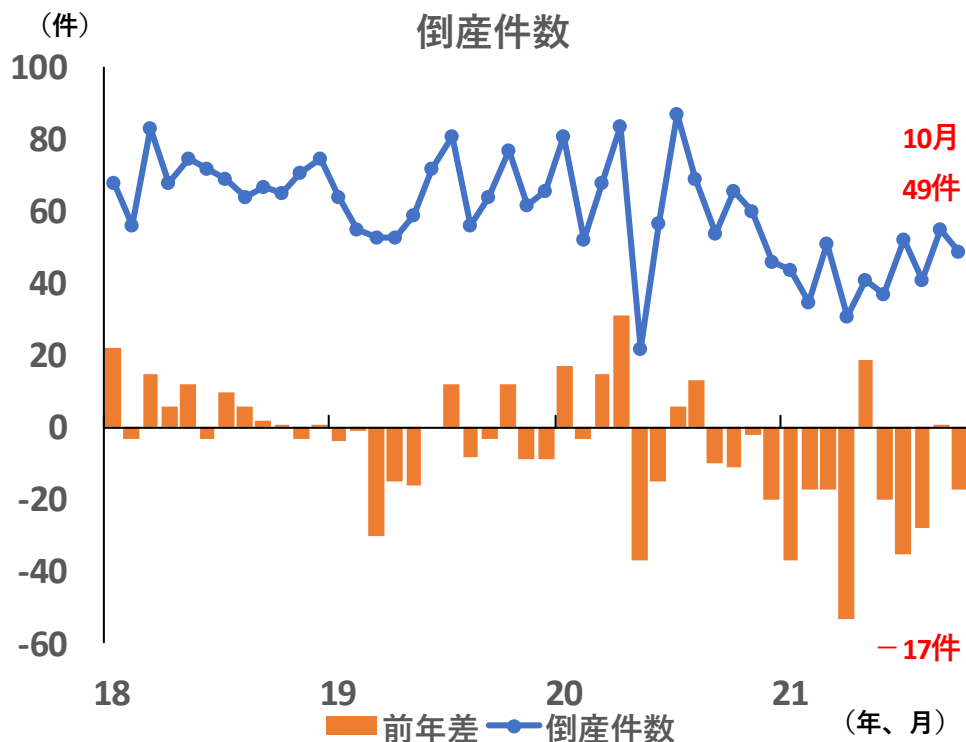


新設住宅着工戸数（前年比）



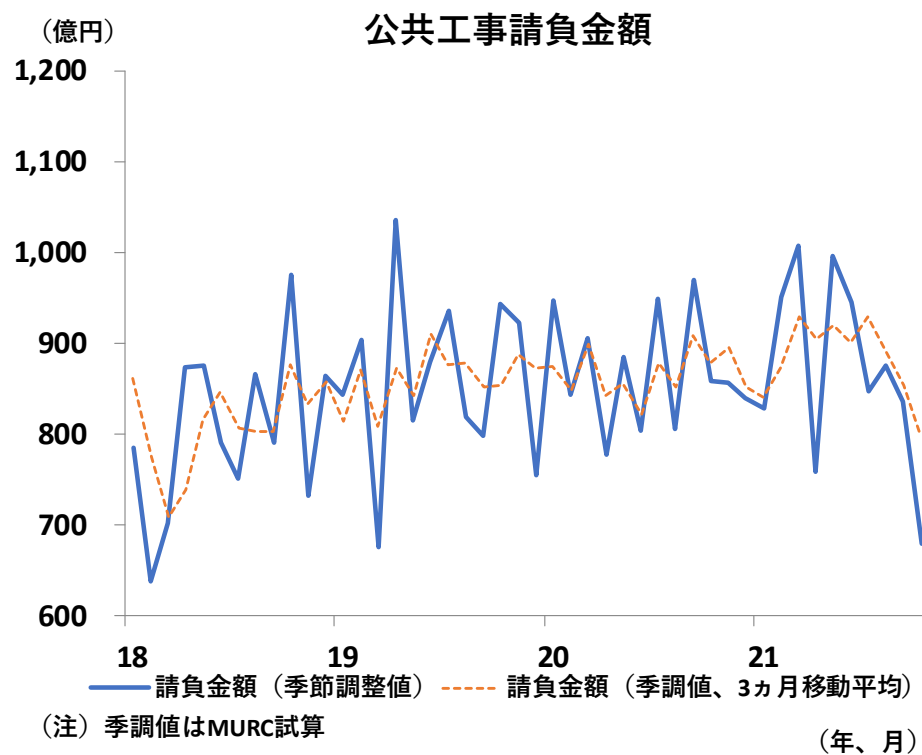
倒産

10月の倒産件数は49件と前年を下回り、低水準で推移している。



公共投資

公共工事請負金額は弱い動きがみられる。



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください